**小平市地域自立支援協議会 第２回全体会議事要録**

**【日　　 時】**令和元年９月９日（月）午後２時～４時

**【会　　場】**小平市福祉会館小ホール

**【出席者】**１４人

**【欠席者】**１人

**【傍　 聴】**３人（ほか支援者１人）

**【 配付資料 】**

1. 小平市地域自立支援協議会第２回全体会次第
2. 小平市障がい者福祉計画　平成３０年度進捗状況　　（資料１）
3. 第五期小平市障害福祉計画・第一期小平市障害児福祉計画平成３０年度進捗状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料２）
4. 小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期小平市障害児福祉計画策定のための意識調査の実施について

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料３）

1. 小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期　小平市障害児福祉計画策定のための意識調査に係る調査票 （案）

　 身体障害者手帳・愛の手帳所持者対象　　　　　　 （資料番号なし）

1. 小平市地域自立支援協議会　第２回幹事会開催報告　（資料４）

**【内　　容】**

**１　開会**

会長より開会が宣言された。

**２　配布資料の確認**

事務局より資料の確認があった。

**３　日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）の開設（予定）に伴う地域自立支援協議会への報告について**

事業者より説明があった。

質疑応答

【Ｍ委員】男女別々の設計になっているが、短期入所も同様か。

【事業者】同様である（男女各１人）。

【Ｉ委員】利用対象者の項目のひとつに、“親がご高齢で生活に支障のある方”とあるが、具体的にはどのようなケースを想定しているか。また、それ以外の場合でも利用は可能か。

【事業者】柔軟に相談に応じる。

【Ｌ委員】利用上限日数である３１日間滞在した場合でも、費用負担は　８５，０００円～９５，０００円の枠内に収まるのか。

【事業者】費用はまだ漠然としているが、小平市のグループホームの中の高い価格帯にあわせ設定している。利用上限日数滞在しても　構わない。

【Ｋ委員】ご本人が、日中もグループホームで過ごしたいと望んだ場合、どのような日中活動を行うのか。

【事業者】現時点では、創作的活動や音楽活動、体力維持活動を予定しているが、明確には決まっていない。１２月以降に機会があれば、お伝えする。

【事務局】日中活動を行う場合、どの場所で実施するのか。

【事業者】食堂で、男女別に活動する。

【事務局】短期入所の部屋は、８人のほかにも居室があるのか。

【事業者】用意してある。

【Ａ委員】短期入所は、緊急時のみの対応なのか。体験利用はできないのか。

【事業者】原則、緊急時対応のみとする。

【事務局】緊急時対応のコーディネートの方法や繋ぎ先はどのよう考えているか。

【事業者】コーディネートは特定相談支援事業所が対応する。グループホームの事業所の職員は対応しない。

【Ｅ委員】鹿島開発株式会社とはどんな会社か。

【事業者】福祉に多少の理解がある不動産屋と認識してほしい。株式会社であるため、家賃収入は必要で営利の面もある。

**４　小平市障がい者福祉計画・第五期小平市障害福祉計画・第一期小平市障　害児福祉計画に係る平成３０年度進捗状況について**

事務局より、資料１と資料２を基に説明あり。

質疑応答

【Ｄ委員】① 平成３０年度を境に、医療型児童発達支援の延べ利用者数の計画の数値が増えているが、数値はどのように決めているのか。

② 平成３０年度を境に、要約筆記者派遣事業の計画の数値が減っているが、数値はどのように決めているのか。

③ 平成３０年度を境に、日中一時支援事業延べ利用者数の計画の数値が減っているが、数値はどのように決めているのか。

【事務局】① 計画は、平成２９年度に策定しているため、平成２８年度の実績値をもとに計画値を定めている。

【Ｄ委員】 数値が下がっていることの原因は。

【事務局】例として、上記②要約筆記者派遣事業について説明する。第五期の計画の数値は、平成２８年度の実績を基に決めている。計画の数値は、平成２８年度の計画の数値ではなく、実績に基づき設定したため、平成３０年度から令和２年度にかけて、１件ずつ増えていく想定としている。利用実績が伸びていなかったため、平成２９年度以降派遣回数を増やすよう取組んでいる。

【Ｉ委員】① 福祉タクシー利用料金補助について、実際の利用率を教えてほしい。

② 公共機関等での知的障がいや精神障がいのある方の雇用の促進について、市としての考えを訊きたい。

③ 「障がい者雇用に関する企業の理解促進」について。総合評価方式の「障がい者雇用等の取組」の評価項目として、平成３０年度から精神疾患のある方の雇用が追加されたはずだが、市役所内での障がい者雇用の取組を教えてほしい。

【事務局】① 支給率は７２％、使用金額は８６００万円程。

② 職員の雇用は職員課が担当のため、そのような要望があることを伝えている。

③ 担当課からの報告をそのまま掲載している。

【Ｉ委員】 法律が改正されているので、文言の記載について改めて検討してほしい。

【事務局】 報告にはないが、総合評価方式ガイドラインには追加されている（後日確認済）。

【会長】障がい者の雇用の在り方について、研究してもらうように職員課に伝えてほしい。

【Ｅ委員】障がいのある児童のバスの送迎の対象は小学校３年生までになっているが、負担が大きいため小学校６年生まで延長してほしい。

【事務局】担当の課に確認する。

【Ｊ委員】災害時の避難場所の確保と支援体制の確立について、人工呼吸器の充電が必要な方は二次避難所に避難してもいいのか。

【事務局】健康福祉部と共に検討中。できるだけ、臨時的な電源を確保できるようにしたい。

【Ｌ委員】① 地域生活支援拠点等の整備について、東村山市は報酬加算の根拠になるものとして、登録制にして協議会で調整をしていくとの情報がある。

　　　　　　　② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について、令和２年度末までに設置をめざすと記載があるが、既に小平市の高齢福祉課や地域の関係機関で、介護医療連携協議会を行っている。そのような場で、話し合いができないのか。

【事務局】① 東村山市とは調整していない。一緒にやることは考えていない。小平市として進めていきたい。

　　　　　　　② 国の趣旨を踏まえて、障がい者支援課で検討していく。

【Ｇ委員】 児童発達支援が無償化になる動きがあるが、並行通園を行う事業所が増えてくると考えている。今後療育をする事業所が求められるので、増えていくよう働きかけをしてほしい。

【副会長】① 小平市障がい者福祉計画について、方向性の分類のひとつに“新規”と記載があるが、意味づけを教えてほしい。

② 入所施設の入所者の地域移行件数が、２名となっているが、　どのようにして移行したのか教えてほしい。

③ 就労定着率は、ほかの自治体に比べて高いのか。

【事務局】① 平成２６年度策定時に、新たに追加したものを新規と記載している。

② グループホーム１名、在宅１名。

③ 他市との比較はできていないが、国の成果目標と比較すると、５％上回るため、非常に高い定着率である。

**５　小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期小平市障　害児福祉計画策定のための意識調査の実施について**

事務局より資料を基に説明あり。

手帳所持者等から３，０００人を無作為抽出し、郵送送付・郵送回収にて実施する。また、発達障がいの方、発達障がいと思われる方を対象とした調査については、対象者の把握が難しいため、郵送配付ではなく、障がい者支援課・健康推進課・保育園・幼稚園・市立小中学校・相談機関・療育機関・障害児通所事業所などで個別配布する。

**６　東京都自立支援協議会交流会参加報告について**

Ｆ委員より資料５を基に報告あり。

**７　幹事会、部会、ワーキング開催報告**

【Ｌ委員】 ７月２６日（金）に開催された当事者・情報部会で、Ｆ委員よりＩＣＴ（情報通信技術）に関する説明があった。皆さんに向けて、発表する場を設けたいと考えている。

【副会長】地域部会が、９月９日（月）午前中に開催された。内容は次回報告する。

**８　その他**

1. **報告事項**

【Ｄ委員】小平市障害者団体連絡会が実施する“障がいを理由とする差別についての体験などのアンケート協力のお願い”という文書を配布させていただいた。協議会の方にも協力いただきたい。

**【**Ｅ委員】西武線の駅にホームドアが設置される計画がある。以前協力をいただいたアンケートも活かされたと思う。

**（２）その他**

**９　今後の予定**

**（１）幹事会　第３回**

**令和元年１０月２５日（金）午後２時～４時**

**健康福祉事務センター第３・４会議室（２階）**

**（２）当事者・情報部会ワーキング**

**令和元年１０月２６日（土）午後１時３０分～３時３０分**

**中央公民館**

**（３）相談支援ワーキング**

**令和元年１１月１９日（火）午前１０時～正午**

**健康福祉事務センター第３・４会議室（２階）**

**（４）全体会　第３回**

**令和元年１２月１６日（月）午後２時～４時**

**健康福祉事務センター第３・４会議室（２階）**

**10　閉会**